

1 社会と文化

§ 1 文化と文明

1 文化と文明

- ・ 文化...人間が自然とのかかわりや集団生活のなかで生み出し、伝え合ってきた生活のしかたやありかたのすべてを総称してよぶ。
- ・ 文明...物質面を重視し、より大きな時代・地域などについて成り立った状態をいう。

文化は、次のような側面から分けることができる。

物質(的)文化...道具や機械、科学や技術など、人間の生活を向上させる物質面にかかわる文化。

制度(的)文化...習慣・道徳・法律・政治・経済など、社会生活を行うための規律にかかわる文化。

精神(的)文化...学問・思想・宗教・芸術など、真・善・美・聖の価値を追求する人間の精神活動にかかわる文化。物質文化と対比される。

1 文化の分類

和辻哲郎の『風土』の型からの分類

- ・ モンスーン型...高温多湿で、豊かな自然の恵みが得られる。一方、暴風・洪水などの自然の暴威がみられる風土。農耕生活。南アジア・東南アジア・南アジア地域。
- ・ 砂漠型...極度の乾燥、不毛の土地という厳しい環境下で、自然に対して戦闘的で対抗的。遊牧生活。北アフリカ・西アジア地域。
- ・ 牧畜型...牧草地帯に恵まれたおだやかな自然。農耕と牧畜。ヨーロッパ地域。

生態系による分類

- ・ 狩猟採集民文化...古くは世界各地に一般的であったが、現在は熱帯の草原や森林、東シベリアから北極海沿岸に残る。自然と融合した文化(アミニズム)。
- ・ 遊牧民文化...厳しい自然環境のもと、不安定な生活を強いられるため、父系社会を形成。乾燥アジア・北アフリカに展開する遊牧社会の文化。
- ・ 農耕文化...農作物栽培を主な産業とする社会の生活文化。新石器時代にはじまり、定住による持続的な文化の蓄積と発達が見られる。

四大農耕文化

- ・ 根菜(根栽)農耕文化...ヤムいも・タロいもなどの芋類を栽培。東南アジアから太平洋諸島・中西アフリカに展開。
- ・ サバナ農耕文化...熱帯の雨季と乾季の交替する地域に発達した農耕文化。
- ・ 新大陸農耕文化...南北アメリカ大陸の西部にみられる。
- ・ 稲作農耕文化...モンスーン=アジアの年降水量 1000mm 以上の地域に発達する水田稲作を中心とする農耕文化。日本には弥生時代に伝わった。

2 文化の交流

東西文化の伝播

- ・ 絹の道(シルクロード)...地中海世界と中国とを結ぶ長大な隊商路。東西文化の交流の

ルートとして重要な役割を果たした。

- ・草の道...絹の道のうち，天山山脈北部のステップ(草原)を通るルート。
 - ・海の道...陸上の絹の道に対して，ヨーロッパと中国を結ぶ貿易航路。
 - ・砂漠の道...絹の道のうち，タクラマカン砂漠のオアシス都市を結ぶルート。
- 文化の多様性...各々の地域・民族・住民などが育んできた文化のそれぞれの独自で多様な文化。 言語・宗教・生活習慣などの差異。
- 文化相対主義...自己の属する文化をはじめ，ある社会・民族の文化を絶対視せず，多様な文化の中で相対的に位置づけてとらえる態度。 これに対し 文化に優劣をつけ，価値観の絶対化につながる，エスノセントリズム(自民族中心主義)がある。
- 若者文化...青年期独特の価値観にもとづく文化。既成の制度への反抗や進歩的・前衛的な面をもつ一方，低俗化・退廃化の傾向をもつことが多い。
- ・アメリカ 1960 年ごろ カウンターカルチャー。
 - ・1967 年ごろから ヒッピー族と呼ばれる若者たちが現れた。
 - ・若者文化の多様化 先進国では，消費文化と密接な関連をもつ。